

日清製粉 「神戸スウィーツ・コンソーシアム チャレンジド・プログラムVol.14」を共催  
～今年度で14年目の“チャレンジドをパーティシエに”を支援する菓子の講習会～

当工業会賛助会員の日清製粉株式会社(山田貴夫取締役社長／東京都千代田区)は、社会福祉法人プロップ・ステーション(竹中ナミ理事長)が中心となって2008年に発足した、パティシエを目指すチャレンジド(※)を支援するプロジェクト「神戸スウィーツ・コンソーシアム(以下、KSC)」を、今年度も共催している。

KSCは「洋菓子発祥の街」と言われる神戸からチャレンジドのパティシエを育てよう」と企画された、日本で初めての試み。日清製粉はチャレンジドの就労の促進や雇用の創出を目指す社会福祉法人プロップ・ステーションの活動に共感し、第1回よりこの活動を共催している。本プロジェクトでは、有名パティシエから菓子づくりの技術だけではなく、販売につながる知識も学ぶことで、チャレンジドの自立を支援する。

14年目となる今年度は、普段、チャレンジドがお菓子づくり

## ■ 令和3年度の講習会概要(予定)

開催日	会場	講師 * 敬称略
6月30日(水)	カフェぼてと(兵庫県神戸市)	西川 功晃(サ・マーシュ)
7月15日(木)	ワークセンターれすと(東京都多摩市)	永井 紀之(パティスリー ノリエット)
9月27日(月)	レストランぴあ(宮城県仙台市)	渡辺 靖水(とびばいさ甘座)
10月20日(水)	街かどマーチcafé(大阪府大阪市)	野澤 孝彦(ホーフベッカライ エーデッガー・タックス)

に従事している作業所で、パティシエによる講習を実施。コロナ禍の状況に鑑み、配信方式にすることで、全国各地の作業所の人々も同時に講習に参加できる。講習の様子は、後日YouTubeで公開する。

※チャレンジド：挑戦する使命を与えられた人。米国などで障がい者に対する新しい呼称として用いられる。



◀祈りのプレツツエル。東日本大震災の復興支援の一環として、被災した作業所を含むKSCに参加する作業所が震災から5年目を迎える2016年に被災地への想いを込めた「祈りのプレツツエル」を製作し、全国で発売した。商標登録も得ている